

補助金チェックシート

(1)

①補助金名称		バンビオにぎわい創出事業補助金							課内No.	1	
事務事業名		総合交流センター管理総合調整				担当所属名	総合交流センター				
②事業期間		始期	平成17	～	終期	継続					
③補助金の分類【選択】		②事業補助				④性質【選択】		①市単独			
⑤予算科目		会計	01	款	02	項	01	目	15	細目	735
⑥根拠法令・規程		長岡京市バンビオ広場公園等にぎわい創出事業補助金交付要綱									
⑦必須業務の有無【選択】		無	内容		-						
⑧補助金開始前の状況 (市民ニーズ・地域課題・社会情勢)		平成17年4月に、JR長岡京駅西口駅前に本市の新しいまち“バンビオ”が「出会い・ふれあい・そして未来へ」のキーワードで誕生しました。完成当時は施設を利用する者も少なく、また、バンビオ広場公園の利用者も殆ど見られない状態で、人の交流・にぎわい創出というには程遠い状況にありました。そのため、地元の市民からまちの活性化を求める声が上がリ、地元自らが主体となって市民を多く集める事業やイベントの開催が行われるようになっていきました。									
⑨補助金開始後の変化 (市民ニーズ・地域課題・社会情勢)		JR長岡京駅西口駅前のまち活性化を図っていくための事業を展開していく地元主体の組織として、長岡京市バンビオ広場公園等にぎわい創出事業実行委員会が立ち上げられ、毎年、年末のイルミネーションや7月の七夕祭り、8月のサマーナイトカフェ事業等に取り組んでこられました。市は、この実行委員会で行われている事業をバンビオ広場公園等にぎわい創出事業として位置づけ、これら事業に要する経費に対し、補助金を交付してきました。これにより事業が拡大され充実していった効果が、今では長岡京市の新しい名所として周辺の街にも知名度が広がり、バンビオの冬の風物詩として欠かせないものとなっています。									
⑩補助金の目的		JR長岡京駅西口地区等における市民相互のふれあいと交流を図る目的で、長岡京市バンビオ広場公園等にぎわい創出事業実行委員会が行う長岡京市バンビオ広場公園等にぎわい創出事業に要する経費に補助金を交付するものです。									
⑪補助金の内容	対象者・団体等	長岡京市バンビオ広場公園等にぎわい創出事業実行委員会									
	対象者・団体等が補助金で行う活動	バンビオイルミネーション事業(年末開催) サマーナイトカフェinバンビオ広場事業(8月開催) バンビオ七夕まつり(7月開催)									
⑫補助金の成果 (誰にどのような成果があるか)		長岡京市バンビオ広場公園等にぎわい創出事業(サマーナイトカフェ、イルミネーション装飾事業等)の実施により、多くの市民を集めることができ、市民間の交流が盛んになることで、市民の社会的、文化的創造をも高めることにつながるものです。									
金額(円)／年度		24年度決算		25年度決算		26年度予算					
⑬財源内訳	国庫補助金	0		0		0					
	府補助金	0		0		0					
	その他補助金	0		0		0					
	一般財源	1,000,000		1,000,000		1,000,000					
	合計	1,000,000		1,000,000		1,000,000					
	前年度比(今年度－前年度)	-		0		0					
業⑭の団 財体 務又 内は 容事	(団体運営補助の場合)団体の決算・予算 (事業補助の場合)事業の決算・予算	3,826,396		3,462,712		3,500,000					
	繰越金	0		0		0					
	市の補助金の割合	26.1		28.9		28.6 %					

補助金チェックシート

(2)

補助金名称(再掲)		バンビオにぎわい創出事業補助金		担当所属名(再掲)		総合交流センター		課内No.		1	
視点		点検チェックポイント				チェック・記述欄					
⑮ 必要性	市民ニーズや社会情勢の対応として、補助金目的が補助金の開始時点と比べて希薄化していない		はい								
	市において目的が類似した補助金がない		はい		-						
	補助金で行われる活動に対して、市が関与する必要がある		はい								
	市が補助金支出という手段で対象者・団体等に関与する妥当性がある		はい								
	法令、計画、通達などにより市の補助金の支出が定められている		いいえ		-						
	市民の必要最低限度の生活の維持に関して、必要不可欠な補助金である		いいえ								
	市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響がある		はい		イベントの開催などには多大な費用が伴うため、事業主催者の保有基金や市民等の寄付だけでは事業実施が困難になります。						
⑯ 優先性	補助金の目的・内容・実施時期に緊急性が認められる		いいえ		-						
	補助金の支出により第3次総合計画第3期基本計画の重点テーマのいずれかを具体化させることができる		はい		住民が地域の課題を解決する「地域力」の向上						
	補助金の支出により自治体間でのサービス内容に差がつけられたり、地域の魅力が増すことができる。		はい		駅前の利便性という優れた特性を活かし、市民交流の舞台にふさわしい魅力ある拠点形成に寄与するものです。						
	施策として遅れており、弱点を補完する補助金である		いいえ								
	住民の参画または主体的な活動を促進する目的がある		はい								
	市民ニーズや社会情勢の多様化に対応するため、補助金の対象や内容について見直しを行っている		いいえ								
⑰ 公平性	わかりやすい情報発信を行っている		はい		広報長岡京、市ホームページ、その他ポスター等により情報発信しています。						
	補助金対象団体の会計担当者の押印ある決算報告書並びに第三者の会計監査を受けた書類等の作成、提出がなされている(※個人補助はチェックしなくてよい)		はい								
	公募制度を導入している		いいえ								
	補助事業者や団体において、適切な受益者負担を徴収している		はい								
	多くの住民、広い地域に還元する活動や事業である(※人口でおおよそ10%、地域で小学校校区程度)		はい								
⑱ 効率性	過去3年以内に補助金の内容・補助額等を見直した		はい								
	事業または団体に対する補助割合が半分以下であり、零細補助でない(※零細補助とは、5万円以下の補助)		はい								
	具体的に説明できる費用対効果がある		いいえ								
	補助金としての期限、終期を設定している		いいえ								
⑲近隣市町の状況【選択】		本市のみ実施		他市町の事例		-					
⑳25年度の取り組み(昨年度)		バンビオイルミネーション2013(12月13日～1月11日まで開催)、2013サマーナイト・カフェinバンビオ広場(7月26日、8月2日、8月9日開催)、バンビオ七夕まつり(6月30日～7月7日まで開催)、その他各種イベントの実施に対する補助金の支出及び人的支援を行いました。									
21)26年度の取り組み(今年度)		25年度の取り組みと同様の取り組みを予定しています。									
22)27年度の取り組み(来年度)		毎年実施されている事業は、本年度も同様に行う一方、当該年度はバンビオが開業して10周年を迎えることになり、予定する市主催のバンビオ開業10周年記念式典に合わせて、当該補助団体にも催し等で協働して盛り上げていただくような記念事業の実施を予定しています。									
23)今後の方向性【選択】		現状維持		今後の取り組み		バンビオの開業当初から当該補助団体により行われているバンビオにぎわい創出事業は、人の交流、にぎわいの創出を生み出し、長岡京駅西口地区のまちの活性化に繋がってきました。今ではこれら催しが市民に定着するものとなっており、これからも欠かせない取り組みとして、市はそれらへの継続した補助を行っていく必要があります。					
24)その他特記事項(留意事項など)		長岡京市バンビオ広場公園等にぎわい創出事業実行委員会が保有している基金は、毎年の事業実施で取り崩しが行われてきており、基金の減少が今後の事業継続を困難にするものと思われます。市としては、当実行委員会の事業が今後も継続して行っていけるよう、何らかの手立てや支援の追加を考える必要があります。									